

障害者福祉教育の実践

知的障害者の方を正しく理解してもらうために、地元三ヶ所の小学校にお願いをし、福祉理解を目的とした様々な取り組み（体験学習やイベント、福祉学習など）を実施している。例年続けている「福祉教育」は、好評を得ており、この取り組みを通して、「心豊かなまちづくり」の一助となればと考えている。

社会福祉法人 **茜会**

〒820-0704 福岡県飯塚市阿恵1633番地
TEL：0948-72-0502 / FAX：0948-72-4728

【法人の概要】

法人設立年：平成4年4月
経営施設、事業（数）：1施設 4事業
経営施設、事業（種別）：
知的障害者入所更生施設

【法人の理念・経営方針】

- 1 人権の尊重
- 2 地域社会との共生
- 3 社会的ルールを遵守した経営
- 4 地域貢献(地域のニーズの把握と貢献活動)
- 5 利用者お一人お一人の個性・大切な命の尊重、大切なライフステージづくりの支援を行っていく。

実施施設の概要

施設名：あかね園
施設種別：知的障害者入所更生施設
活動開始年：平成3年7月
活動の頻度・時間：年2～3回 月1（回）、
1回当たり2～4（時間）
活動の対象者：地元の小学生・利用者、住民

活動実施の背景、実施にいたった理由

平成4年4月、社会福祉法人茜会「あかね園」は、福岡県（現飯塚市阿恵の地）に誕生した。

法人の経営基本方針として、幾つかの目標を掲げてきたが、なかでも“地域にご恩返しを”という思いで、空き缶拾い、近隣の駅や神社などの清掃活動を行ってきた。

しかし一番必要なことは“何か”を考えたとき、次のような取り組みの大切さがみえてきた。

それは、知的障害者の方を正しく理解してもらう為に、地域の皆様の理解を得ることに加え、学校教育に“障害者教育”を導入していただく事であった。

地元三ヶ所の小学校にお願いをして、様々な取り組みが実現し、現在に至っている。

“やさしい心を持った地域の子供たちの育成”高齢者・障害者・すべての町民の皆様が共存できる“心豊かなまちづくり”をめざして法人がその一助となる様活動を展開している。

実施内容

法人茜会が所在する、緑豊かなこの町には、3ヶ所の小学校がある。

中心地に位置する上穂波小学校では、現在まで過去13年間にわたり、“福祉体験学習”と題して6年生の皆さんが1日体験（数年前より半日となった。）をされ、障害に対する事前学習を学校で行っていただき、園内にて1時間程度学習を行ったあと、十数班にわかれている療育・作業訓練班の中に実際に所属され体験し、そのあとで質問・感想などをいただき体験が終了となる。秋に例年行っている“オータム・フェスタ”では、体験された子供たちが、楽器・歌や踊りを披露され、一日を共有しながらとても穏やかで、楽しい時間をすごしていただいている。

又内野小学校では、（少人数のたて割教育）が実施されているが、“七夕集会”などにこちらから訪問して交流を深めている。

もう1ヶ所の大分小学校では、2年前から積極的に“福

社学習”にも参加され、秋のフェスタを通して交流を行ってきた。さらに学習を通して障害に対する理解も深まっている。

また中学生のインターンシップの対象企業の一つとして、高校生の福祉体験研修先としてあるいは、公務員の初任者研修先としても施設を開放し、正に法人が運営する施設が、“精神文化の拠点”として貢献してきた。

活動効果

法人・施設が、開所以来実践してきた活動は、現在地域社会、そこに居住されている方にも各々の分野で大変喜んでいただける活動として根づいてきた。特に“人を育てる”“ひとの心を育てる”ということは大変重要なことだが、反面それを実践していくことは、むずかしいことでもある。それはその心が育っているか否かは、一目見てわかりにくいことであるためだが、この“見えない部分”を育てていかなければ、地域福祉の充実発展はありえないと考える。

例年続けてきた「福祉教育」活動に於いて、確かに地域が変わってきている事を肌で感じる。それは障害者の方々を徐々に受け入れる体制が地域に芽生えてきたこと、昨年より市町村合併が行われ、更に“福祉”を中心にした地域づくりが実践されようとしているためである。

今後の課題

平成18年、「障害者自立支援法」が施行され、いよいよ地域福祉の充実が求められている。過疎化が進んでいる地域において、法人の運営する施設の“地域貢献”に寄せられる期待と実践は大きなものがある。

福祉教育をベースにしたより広範囲な教育の実践、法人の事業としてグループホームやケアホームの所在する地域において、住民の皆様方の支援協力が大切になってくる。

各地で法人が“地域福祉の向上”を目標にかかげながら、住民と一体化してだれもが安心して暮らせるまちづくり、ひと味ちがった夢のある、心のかよいあつたまちづくりにチャレンジしていきたいと考えている。

